

「直前セミナー（構造施工）」の質疑回答

|     | 質疑  | 回答  | 備考欄 |
|-----|---|---|-----|
| 7/3 | 令和2年 構造No.12 ひび割れの問題で「せん断ひび割れ」の見分け方のポイントを教えてください。よろしくお願いします。  | 2021/4/4の構造文章題6のオンラインセミナーの配布資料を参照してください。  |     |
| 7/3 | 免震構造の事が今一わからないのですが、面圧、指示軸力を積層ゴムの断面積で除した値とするとありますが、積層ゴムの層数を多くしたりすると、断面積が増えるということなのですか？厚くしても面圧は・・・とこのへんがわかりません。 | 免震アイソレータの面厚を小さくするためには、積層ゴムの層数ではなくて、積層ゴムの面積を大きくする必要があります。つまり、積層ゴムの直径を大きくすることで、免震アイソレータに生じる面圧を小さくすることができます。   |     |
| 7/3 | 実際、試験に今年出るかもしれないのですが、過去の大きな地震で耐震基準が変わったりして、どの地震でどのように変わったのかが知りたいです。新耐震になったのは、常識に知っていきやいけないのですが、それも自信がありません。   | 過去の地震による耐震基準の変貌については、下記の藤沢市のHPが比較的良くまとまっています。<br><a href="https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kentiku/machizukuri/sumai/taishin/shindan/taishin-kaise.html">https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kentiku/machizukuri/sumai/taishin/shindan/taishin-kaise.html</a><br>木造に関する基準の変貌については<br><a href="https://www.mokutaikyo.com/dcms_media/other/8100_nenpyo.pdf">https://www.mokutaikyo.com/dcms_media/other/8100_nenpyo.pdf</a> が分かりやすくまとまっています。参照してください。 |     |
| 7/3 | 鋼構造の筋交の保有耐力結合で接合部がその筋交よりも強く作られているのはわかりましたが、木造は違うのでしょうか  | 木自体の材料特性は、鋼材の材料特性のような靱性能は少なく、引張力に対して脆性的に壊れる傾向があります。また、一般的な軸組み工法の木造住宅では、梁は柱に対してホゾで刺さり、引き寄せ金物などにより、梁が柱から抜けることを防ぐようなおさまりとなっています。さらに、軸組み工法において柱梁接合部が壊れる場合は、梁が柱にめり込むような壊れ方をします。つまり、鉄骨造等とは異なり、軸組み工法において柱梁接合部が壊れる壊れ方は靱性能のある壊れ方となります。以上のことにより、日本語としては、木造については筋かい軸部の破断ではなく柱梁接合部が壊れるように、鉄骨造につちは柱梁接合部の破断ではなく筋かい軸部がこわれるように、というのが覚える内容となります。   |     |